

2024 年度（令和 6 年度）

水道工事業者用施工管理マニュアル

福山市上下水道局

提 出 書 類

## 契約及び支払い手続書類一覧

### 契約締結時

法第12条第1項に基づく書面* 分別解体等の計画等(別表3)* 法第13条及び省令第4条に基づく書面*	建設リサイクル法対象工事 工程表を添付 落札日から5日以内に提出	建り法12条、13条
---	--	------------

### 契約後

(受注時)コリンズ(CORINS)への登録内容確認書	契約金額500万円以上 契約締結日から10日以内に登録	県共仕1-1-1-5
現場代理人及び主任技術者等指名(変更)届*	契約金額50万円以上 契約締結日から14日以内に提出 変更があった場合は理由書を添付して速やかに提出	約款10条
現場代理人兼任(変更)届*	契約担当課に提出 発注者が認めた場合に限る	約款10条
当初工程表*	契約締結日から14日以内に提出	約款3条
建設業退職金共済証紙の購入状況報告書*	契約金額300万円以上 該当のない場合は「設業退職金共済制度に係る発注者用掛金 収納書を提出できない理由書*」を提出 契約締結後1ヶ月以内に提出	特約9項
告知書*の写し	建設リサイクル法対象工事 下請業者が特定建設資材に携わる場合提出 下請負人名簿と同時に提出	建り法12条3項
下請負人等に関する届出書*	提出ごとに、回数を増やして提出すること。 下請業者と契約後速やかに提出	約款7条
公共工事前金払申請書*	契約金額130万円以上 前金払保証証書を添付 必要に応じて提出	約款35条
公共工事中間前金払申請書*	契約金額130万円以上 中間前金払保証証書を添付 必要に応じて提出	約款35条2項
中間前金払認定請求書*	契約金額130万円以上 中間前金払の支払要件を満たしていることの認定を請求する場 合に提出	約款35条3項
工事履行報告書*	設計図書に定めるところにより、契約の履行について報告する様 式であり、「中間前金払認定請求書」を提出する際に添付するこ と。	
確認依頼書*	条件変更等の事実を発見した場合に提出	約款18条
(技術者変更時)コリンズ(CORINS)への登録内容確認書	技術者変更時 変更時と工事完成時の間が10日間未満の場合は省略可	県共仕1-1-1-5

### 変更契約前

工期延長(短縮)申請書*	受注者の責めに期すことができない事由により工期内完成がで きない場合、または特別の理由により工期を短縮する必要があると きに提出	約款21条、22条
変更協議に係る承諾書	「工期の変更について(協議)」及び「請負代金等の変更について (協議)」の内容確認後、提出	約款18条
法第13条及び省令第4条に基づく書面*	建設リサイクル法対象工事で 対象部分に変更になる場合	建り法13条

### 変更契約後

(工期変更時)コリンズ(CORINS)への登録内容確認書	工期変更時 変更契約締結日から10日以内に登録 変更時と工事完成時の間が10日間未満の場合は省略可	県共仕1-1-1-5
変更工程表*	変更契約締結日の翌日から14日以内に提出	約款3条

### 工事完成時

再資源化等完了報告書*	建設リサイクル法対象工事 様式1、2を添付	建り法18条
完成通知書*	契約金額50万円以上 工事完成後速やかに提出	約款32条
請求書*	工事完成後速やかに提出	

### 完成検査

(竣工時)コリンズ(CORINS)への登録内容確認書	竣工時 完成検査終了後10日以内に登録	県共仕1-1-1-5
----------------------------	------------------------	------------

\* 福山市上下水道局ホームページ「契約情報-様式関係-工事等関係書類(福山市上下水道局)及び建設工事請負契約約款に基づく様式(福山市上下水道局)」でダウンロード可

#### 【備考】

約款: 福山市建設工事請負契約約款  
 特約: 特約事項(工事請負契約書に添付)  
 共仕: 福山市上下水道局共通仕様書【水道施設】  
 県共仕: 広島県土木工事共通仕様書  
 建り法: 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)

## 施工に係る書類一覧

施工計画書	表紙に工事打合せ簿*を添付 試掘前日までに提出	県共仕1-1-1-4
使用材料承認	表紙に工事打合せ簿*を添付 品質を証明する資料を工事材料を使用するまでに提出	県共仕第2編第2節
建設副産物情報交換システム工事登録証明書(計画) 様式1 再生資源利用計画書 様式2 再生資源利用促進計画書	100万円以上 施工計画書に添付	県共仕1-1-1-19
工事打合せ簿*	監督員との打合わせ記録等	
段階確認書*	特に工事完成後明視できない部分などについて、設計図書との適合を確認するもので主要(重要)な工事段階の区切り等において実施	
確認・立会依頼書*	確認、立会依頼等	
材料確認書*	材料の現場搬入時	
工事履行報告書*	契約の履行状況を毎月7日までに報告 (履行状況が分かる資料を添付)	約款11条
建設副産物情報交換システム工事登録証明書(計画、実施) 様式1 再生資源利用実施書 様式2 再生資源利用促進実施書	100万円以上 様式1、2は再資源化等完了報告書に添付	県共仕1-1-1-19

\* 福山市上下水道局ホームページ「事業者の方へ-検査関係-工事施工における書類の様式について」でダウンロード可

**「広島県土砂の適正処理に関する条例」**

500m<sup>3</sup>以上の土砂を事業区域外へ搬出する場合

「土砂処理計画届出書」を 福山市建設局農林土木部 農林整備課 に提出(搬出開始より20日以上前)

**【備考】**

約款: 福山市建設工事請負契約約款

特約: 特約事項(工事請負契約書に添付)

共仕: 福山市上下水道局共通仕様書【水道施設】

県共仕: 広島県土木工事共通仕様書

建り法: 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)

## 完成書類一覧

<p><b>[I] 出来形管理</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 管理点位置図及び竣工図</li> <li>2. 管渠工             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 出来形管理表                      様式-1</li> <li>(2) 土工管理図                 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 基礎幅</li> <li>② 基礎厚</li> </ol> </li> <li>(3) 管布設工管理図                 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 布設位置</li> <li>② 埋設深</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>3. バルブボックス バルブ詳細図</li> <li>4. 給水管工             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 給水引込管切替図</li> </ol> </li> <li>5. 付帯工             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 舗装展開図</li> <li>(2) 舗装管理図                 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 下層路盤幅</li> <li>② 下層路盤厚</li> <li>③ 上層路盤幅</li> <li>④ 上層路盤厚</li> <li>⑤ 表層幅</li> <li>⑥ 表層厚</li> </ol>                 ※表層と基層等の形状が異なる場合は基層等の幅、厚             </li> <li>(3) 区画線展開図</li> </ol> </li> </ol>	<p><b>[II] 品質管理</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 管渠工             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 水圧試験記録(グラフ)</li> <li>(2) 継手チェックシート(工事日報と併せて随時提出)</li> </ol> </li> <li>2. 舗装工             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 下層路盤密度試験</li> <li>(2) 上層路盤密度試験</li> <li>(3) As合材                 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 初転圧前温度</li> </ol> </li> <li>(4) 表層コア、基層等コア                 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 厚</li> <li>② 密度</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>3. 埋戻材             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 埋戻し土貫入試験結果報告書(土研式)</li> <li>(2) 六価クロムの溶出試験の試験結果(計量証明書)</li> </ol> </li> </ol> <p><b>[III] その他</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工事写真帳</li> <li>2. 産業廃棄物・建設副産物             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 伝票及び集計表</li> <li>(2) マニフェストの写し(D票またはE票)</li> </ol> </li> <li>3. 交通誘導員             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 伝票及び集計表</li> </ol> </li> <li>4. 宅内掘削承諾書</li> </ol> <p><b>[IV] 提示書類</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 使用材料             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 主要資材一覧表</li> <li>(2) 伝票及び集計表</li> </ol> </li> <li>2. 地元挨拶チェックリスト</li> <li>3. 災害防止協議会等の活動記録</li> <li>4. 店社パトロールの実施記録</li> <li>5. 安全巡視、TBM、KY等の実施記録</li> <li>6. 安全教育・訓練等の実施記録</li> <li>7. 新規入場者教育の実施記録</li> <li>8. 使用機械、車両等の点検整備管理記録</li> <li>9. 過積載防止の取組み記録</li> <li>10. 下請けに対する引き取り(完成)検査記録</li> </ol>
--	---

**[補足説明]**

1. 出来形管理基準及び規格値、品質管理基準及び規格値は、「福山市上下水道局工事検査必携」による。
2. 「基層等」とは、基層、中間層などアスファルト合材で構成するものを指す。
3. 水圧試験記録(グラフ)には、会社印を押印するものとする。
4. 提出する伝票のうち、発生土及び交通誘導員に関するものについては原本を原則とする。
5. 電子マニフェストを使用する場合には、伝票及びマニフェストの写しの提出を省略できるものとする。
6. 工事写真帳は、別紙「上水道工事写真撮影要領」によるものとする。
7. 提示書類は、検査時に持参すること。また、監督員が提出を求めた際には提出するものとする。
8. 本完成書類一覧に記載されていない工種についても、監督員が必要と認めた場合には、実施するものとする。

## 下請負人の工事内容の記載について

みだしのことについて、下請負部分の工事内容欄の種別を統一したいと思いますので、ご協力をお願いします。

工 法	工 事 内 容 種 別	工 種
開削工法	舗 装 切 断 工	舗装切断工
	土 工	掘削, 埋戻, 土留工, 仮設工
	管 布 設 工	管布設, 管基礎, 仕切弁・消火栓, 給水管
	不 断 水 工	不断水工
	舗 装 復 旧 工	下層路盤, 上層路盤, 表層等
推進工法	推 進 工	坑口, 推進
	地 盤 改 良 工	薬液注入, 高圧噴射攪拌
	土 留 工	鋼矢板, 鋼製立坑
	土 工	掘削, 埋戻, 土留支保工
	舗 装 復 旧 工	下層路盤, 上層路盤, 表層等
	交 通 誘 導	交通整理

※特定建設業の許可を受けなければ、下請総額4,000万円建築一式工事の場合は6,000万円)以上を一次下請に出すことができない。

# 施工計画書について

## 1. 施工計画書作成のポイント

- (1) 施工計画書は、工事の着手に先立ち工事目的物を完成するために必要な手段や工法の具体的な計画を作成し、**試掘前日までに監督員に提出し受理されること。**
- (2) 施工計画書の作成にあたっては、契約書及び設計図書に指定されている事項について軽微なものを除き記載すること。
- (3) 施工計画書の内容に変更が生じた場合には、そのつど当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更計画書を作成し提出すること。
- (4) 監督員が指示した事項については、受注者はさらに詳細な施工計画書等を作成のうえ、提出すること。
- (5) 施工計画書のうち、特に安全管理・施工管理（工程・品質・出来形）に係る部分については遺漏なきよう作成すること。

## 2. 施工計画書の記載内容は次を参考とすること。

- (1) 工事概要（別紙 1）
- (2) 計画工程表  
計画工程表は、それぞれの工種別について作業の初めと終わりがわかるネットワーク、バーチャート等で作成する。なお、契約工期については、原則として、完成検査期間 14 日を見込むこと。
- (3) 現場組織表（別紙 2）  
現場組織表は、現場における組織の編成及び命令系統並びに業務分担がわかるように記載し、監理技術者、専門技術者を置く工事については、それらを記載する。  
また、施工体系図等を記載する。
- (4) 指定機械（別紙 3）  
工事に使用する主要機械で、設計図書で指定されている機械（騒音振動、排ガス規制等）について記載する。
- (5) 主要機械（別紙 3）  
工事に使用する主要機械について記載する。
- (6) 主要資材（別紙 4）  
工事に使用する資材について記載する。
- (7) 施工方法  
施工方法は次のような内容を記載する。
  - ①「主要な工種」毎の作業フロー
  - ②施工実施上の留意事項及び施工方法
  - ③使用機械
  - ④工事全体に共通する、仮設備の構造、配置計画等について位置図、概略図等を用いて具体的に記載する。また、安全確認する方法として応力計算等も可能な

限り記載する。その他、間接的設備として仮設建物、材料、機械等の仮置場、プラント等の機械設備、運搬路、仮排水、安全管理に関する仮設備等について記載する。

(8) 施工管理計画（様式1）

管理方法について記載する。

- ① 工程管理
- ② 品質管理
- ③ 出来形管理
- ④ 写真管理
- ⑤ 段階確認

必要に応じた項目についての計画を記載する。

⑥ 品質証明

その工事の中で行う社内検査項目、検査方法、検査段階について記載する。

(9) 安全管理

安全管理に必要なそれぞれの責任者や組織づくり、安全管理についての活動方針について記載する。また、事故発生時における関係機関や被災者宅等への連絡方法や救急病院等について記載する。

① 工事安全管理対策

- ・ 安全管理組織
- ・ 危険物を使用する場合は、保管及び取扱いについて
- ・ その他必要事項

② 第三者施設安全管理対策

家屋、商店、鉄道、ガス、電気、電話等の第三者施設と近接して工事を行う場合の対策。

③ 工事安全教育及び訓練についての活動計画

安全管理活動として実施予定のものについて参加予定者、開催頻度等を記載する。

(10) 緊急時の体制及び対応

大雨、強風等の異常気象時又は地震発生時の、災害防止及び災害が発生した場合に対する、体制及び連絡系統等を記載する。

(11) 交通管理

工事に伴う交通処理及び交通対策について記載する。

迂回路を設ける場合には、迂回路の図面及び安全施設、案内標識の配置図並びに交通整理員等の配置について記載する。

また、具体的な保安施設配置計画、市道及び出入口対策、使用資材の搬入・搬出経路、積載超過運搬防止対策等について記載する。

(12) 環境対策

工事現場地域の生活環境の保全と、円滑な工事施工を図ることを目的として環境保全対策関係法令に準拠して、次のような項目の対策計画を記載する。

- ① 騒音、振動対策
- ② 水質汚濁



- ③ゴミ，ほこりの処理
  - ④事業損失防止対策（家屋調査，地下水観測等）
  - ⑤その他
- (13) 現場作業環境の整備
- 現場作業環境の整備に関して，次のような項目の計画を記載する。
- ①仮設関係
  - ②安全関係
  - ③営繕関係
  - ④その他
- (14) 再生資源の利用の促進
- 再生資源利用の促進に関する法律に基づき，次のような項目について添付・記載する。
- ①様式1 再生資源利用計画書
  - ②様式2 再生資源利用促進計画書
  - ③建設副産物情報交換システム工事登録証明書（計画）
  - ④建設廃棄物処理委託契約書の写し
  - ⑤産業廃棄物処分業許可証の写し
  - ⑥産業廃棄物収集運搬業許可証の写し
  - ⑦建設発生土及び建設廃棄物の運搬経路及び位置図
  - ⑧建設発生土及び建設廃棄物の受入先の写真（工事前後及び表示看板）
- (15) その他
- その他，重要な事項について，必要により添付・記載する。
- ①官公署等への手続き（警察署，消防署，労働基準監督署，ガス等）
  - ②地元挨拶チェックリスト
- (16) 添付資料
- ①法定資格等の証明書の写し
  - ②使用機械の車検証，点検表の写し及び写真
  - ③使用資材の品質証明書

#### **品質証明員**

より一層の品質確保を目指す観点から，受注者が品質証明員を決め，各段階での社内検査を実施し，当該工事の品質を証明するもので，設計図書に基づき，各工種における各段階での社内検査（受注者が決めた品質証明員による検査）を実施するもの。

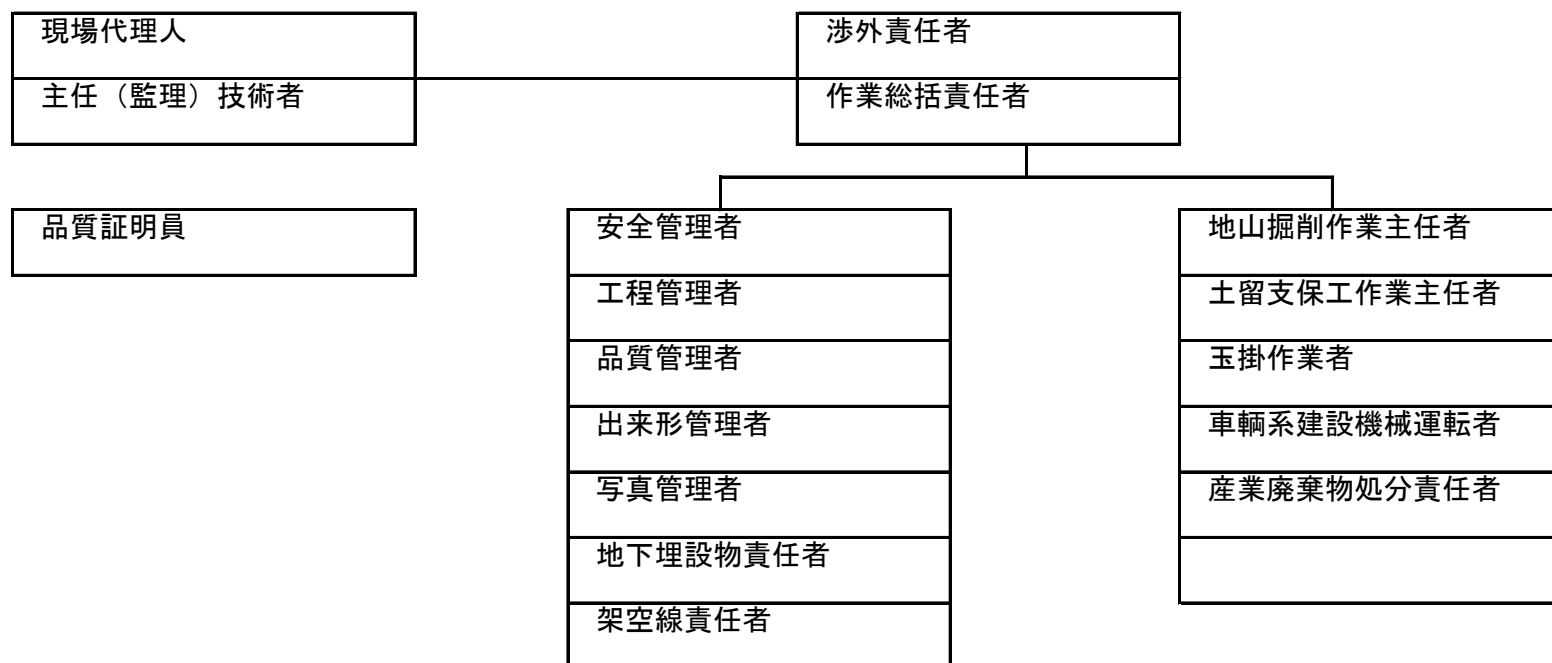
※品質証明員とは，当該工事に従事していない社内の者が行うものとし，資格がある場合はその資格証明書の写しを，資格のない場合は経験年数（10年以上）及び経歴書を記載した書面を提出するものとする。

## 1. 工事概要

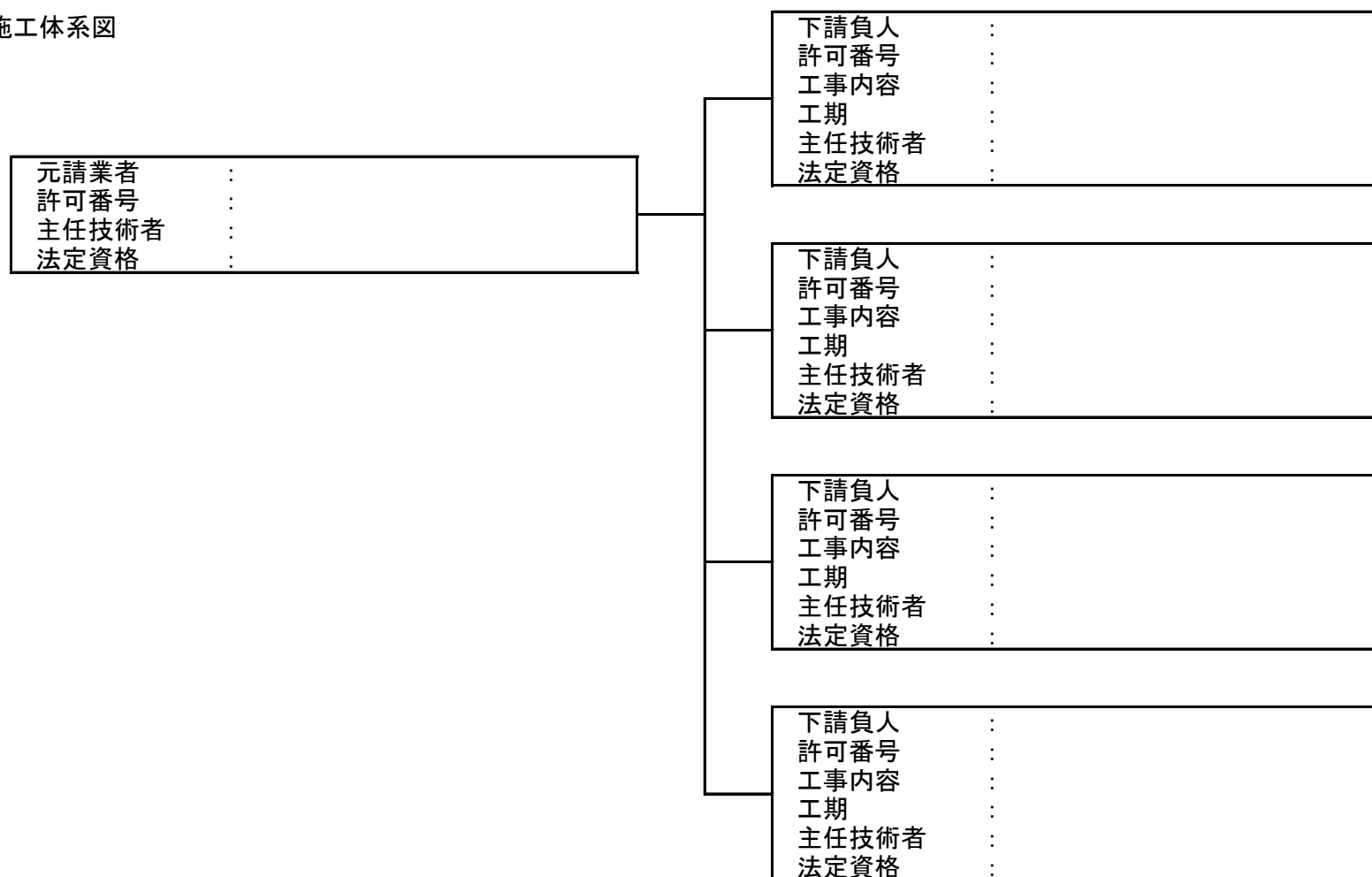
工事名称			
工事場所	福山市	町 地内	
請負金額	¥	-	(内消費税額¥ -)
工 期	着手	年	月 日
	完成	年	月 日
発注者	福山市上下水道事業管理者（工務部 管路整備課） 担当者 技師 (TEL - )		
受注者	(所在地)		
中間検査 指定工程			
	名 前	法定資格 証明書発行番号	経 歴
現場代理人			
主任（監理）技術者			
工事内容			

### 3. 現場組織表

#### (1) 現場組織表



#### (2) 施工体系図



#### (3) 工事外注計画

会社名	工事内容	区分	請負金額
〇〇建設(株)	管路土工	1次	千円
			千円
			千円
			千円
合計			千円







## 単位体積重量及び変化率表

名 称	規 格	単位重量 (tf/m <sup>3</sup> )	変化率
埋 戻 材	真 砂 土	1.80	1.33
	改 良 土	※1.40~1.50	1.33
基 礎 材	水 碎 砂	1.30	1.26
	エコ水砕砂	※1.61	1.26
再生碎石	RC-30 ・ RC-40	※2.04	※1.27
粒調スラグ	MS-25	2.06	1.27
合 材	車 道 部 粗・密粒度	2.35	1.07
	歩 道 部 密 粒 度	2.20	1.10
	歩 道 部 細 粒 度	2.15	1.10
	車 道 部 瀝青安定処理路盤材	2.35	1.07

※は参考数値

水道工事 関連施設

電話番号 一覧表

福山市 上下水道局	工務部 管路整備課	管路改良担当	084-928-1508
		下水第1担当	084-928-1088
		下水第2担当	084-928-1089
配水第1担当		084-928-1505	
配水第2担当		084-928-1506, 084-928-1507	
工務部 管路維持課	調査担当	084-928-1510	
	維持担当	084-928-1531	
休日・夜間受付		084-928-1517	
福山市 経済環境局	環 境 部	東部環境センター	084-940-2573
		西部環境センター	084-930-0411
		南部環境センター	084-954-2125
		北部環境センター	084-976-8809
		環境総務課	084-928-1071
福山ガス		084-931-3111	
協同ガス		084-953-3232	
(NTT)協和エクシオ		084-999-4248	
中国電力	福山営業所	084-922-7839	
	(夜間・休日・緊急時)	0120-51-1542	
	尾道電力所	0848-46-5540	
広島県警	福山東警察署	084-927-0110	
	福山西警察署	084-933-0110	
	福山北警察署	084-962-0110	
福山地区消防組合	東消防署	084-941-3868	
	西消防署	084-934-1355	
	南消防署	084-928-1200	
	北消防署	084-923-3993	
	芦品消防署	0847-52-4400	
	深安消防署	084-962-1234	
	沼隈内海出張所	084-987-4119	
労働基準監督署	福山	084-923-0005	



施 工

## 施 工 手 順

- ① 各誓約書の提出  
↓
- ② 地元住民，土木常設員，自治会長，水利委員，学校関係等に連絡  
↓
- ③ 道路使用の提出  
↓
- ④ 施工計画書，材料承認の提出  
↓
- ⑤ 試掘（ガス，NTT，中電等）  
↓
- ⑥ 消防署へ連絡  
↓
- ⑦ 工事実施  
↓
- ⑧ 写真，管理図等の提出  
↓
- ⑨ 完了検査  
↓
- ⑩ ②の項へ完了報告

# 施 工 一 般

## 1 管種選定

### ・配水管

配水管口径	名 称	略称
φ 50～φ 150	水道配水用ポリエチレン管	PEP
φ 200～φ 400	ダクタイトル鑄鉄管 GX形	GX
φ 450～φ 600	ダクタイトル鑄鉄管 NS形	NS
φ 700以上	水輸送用塗覆装鋼管	SP

- 1) PEPは静水圧P=0.75Mpa(7.65kg/cm<sup>2</sup>=76.5t/m<sup>2</sup>)以下で使用  
0.75MPaを超える場合又は圧力変動の大きいところはダクタイトル鑄鉄管使用  
(フランジ形式は10k 16k 20kを選択)
- 2) ダクタイトル鑄鉄管は、内面エポキシ樹脂粉体塗装管を使用する。
- 3) ダクタイトル鑄鉄管の切断はエンジンカッター使用禁止、鑄鉄管切断機を使用する。
- 4) ダクタイトル鑄鉄管の施工は、全ての継手部においてのチェックシートを記入すること。
- 5) 水道配水用ポリエチレン管の融着接合においてはチェックシートを記入すること。
- 6) 作成したチェックシートは、工事日報と合わせて随時監督員に提出すること。

### ・給水管

給水管口径	名 称	略称
φ 13～φ 40	水道用1種2層ポリエチレン管(JISK6762)	PP

PP継手 JWWA B116規格とする

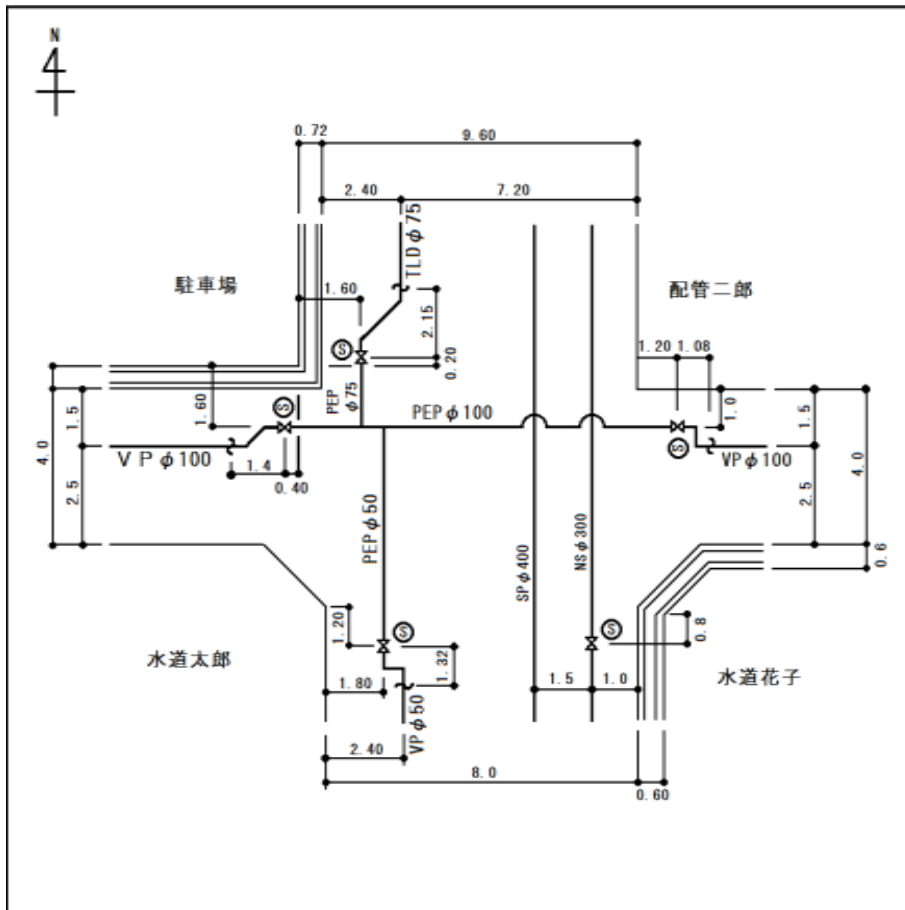
### ・給水管分岐部

分岐/本管	水道配水用ポリエチレン管	ダクタイトル鑄鉄管
φ 25以下	EFサドル	鑄鉄用サドル分水栓
φ 40 φ 50	EFサドル付分水栓 (GL-0.3mの位置に保護鉄板を設置)	NS:T字管 GX:給水分岐専用管
φ 75以上	EFチーズ両受け (分岐部に仕切弁設置)	T字管

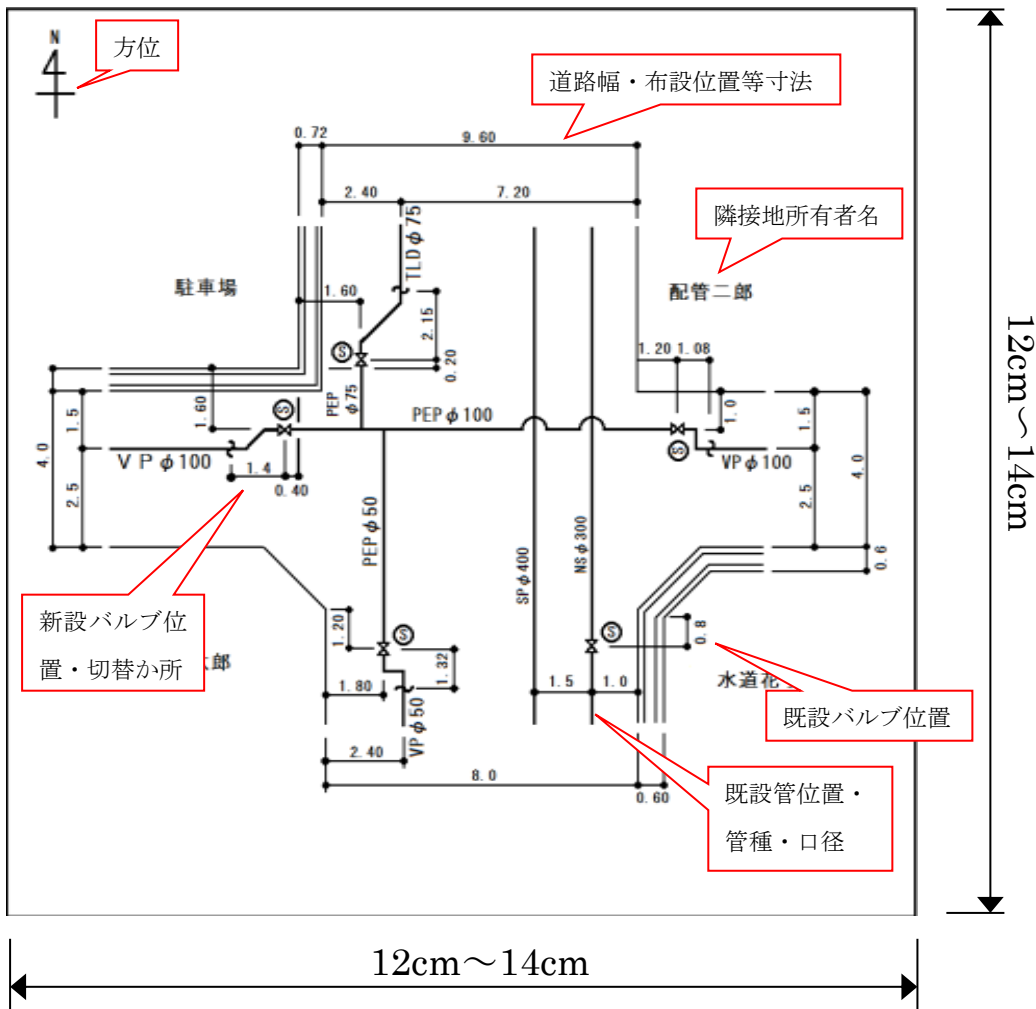
分岐部以降の給水管

- 1) φ 40以下の第一止水栓は(JWWA B-108) ボール止水栓とする。  
φ 40第一止水栓ボックスはボール止水栓用鉄蓋及びレジンボックスを使用する。  
φ 50の第一止水栓はソフトシール弁とする。
  - 2) ダクタイトル鑄鉄管(エポキシ樹脂粉体塗装管)において給水穿孔する場合はエポキシ樹脂粉体塗装管専用ドリルを使用する。
- 2 全路線の配水管にアルミ箔なしの明示帯シートを敷く。  
φ 40以上の給水管にアルミ箔なしの明示帯シートを敷く。
  - 3 水道配水用ポリエチレン管・水道用1種2層用ポリエチレン管にはナイロンスリーブを、ダクタイトル鑄鉄管には、ポリエチレンスリーブを設置する。  
※ ナイロンスリーブの使用は、ポリエチレン管を油類や有機溶剤から保護するため。
  - 4 水道配水用ポリエチレン管の管上部にロケーティングワイヤーを2m間隔でテープでとめ仕切弁ボックス蓋まで端部を出し測定機と接続できるようにしておく。  
給水管もロケーティングワイヤーを設置し本管ワイヤーと結ぶ。  
ワイヤー端部を第一止水栓ボックス内に露出させて、測定器と接続できるようにしておく。

バルブ詳細図記入例



記入例の詳細説明



# 参 考 様 式 集

年 月 日

町内のみなさまへ

## 水道工事のお知らせ

この度、みなさまの町内の水道工事を行うことになりました。

つきましては、工事中は交通制限や機械の騒音、断水、減水及び赤水などでご迷惑をおかけいたします。

早期完成に向け努力しますので、何卒、ご理解ご協力をお願いいたします。

### 記

工事名	配水管布設工事（〇〇〇ー〇）			
工事場所	福山市〇〇〇町〇丁目 地内（別紙 地図のとおり）			
契約工期	平成	〇〇年	〇〇月	〇〇日 から
	平成	〇〇年	〇〇月	〇〇日 まで
工事期間	平成	〇〇年	〇〇月	〇〇日 から
	平成	〇〇年	〇〇月	〇〇日 まで
交通規制	車両通行止め （歩行者及び自転車は交通整理員により誘導します。）			
作業時間	午前9時から午後4時まで（作業時間以外は開放します。）			
施工業者	〇〇〇〇〇水道会社(株)		TEL084-000-0000	
			夜間	TEL084-000-0000
	現場代理人 〇〇〇〇〇			
発注者	福山市上下水道局〇〇〇課		〇〇担当	TEL 084-000-0000
			夜間	TEL 084-928-1517
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>交通整理員を配置し、交通の円滑と事故防止に努めます。</li><li>断水については、日程が決まり次第、事前に連絡いたします。</li></ul>			

年(令和 年) 月 日

水道ご利用のみなさまへ

福山市上下水道局  
工務部〇〇〇〇課

## 水道工事に伴う宅地内掘削のご承諾について(お願い)

この度の水道工事に、ご理解ご協力をいただきまして有難うございます。  
先日、ご案内させて頂きました水道工事に伴い、新しい給水管に切り替える工事を  
行うために、**宅地内の掘削のご承諾**をお願いします。

特に年数が経過した給水管は、漏水や断水の危険性が高まりますので、この機会  
に給水管を布設替えさせて頂きますようお願いいたします。

工事については、大変ご迷惑をお掛けしますが、本復旧(完成)するまでの間、ご  
寛容の程お願いします。

工 事 名 配水管布設工事(〇〇〇-〇)

工事場所 福山市 〇〇〇町〇丁目 地内

受注業者 〇〇〇〇〇水道会社(有) TEL 084-000-0000  
現場代理人 〇〇 〇〇 夜間・休日 TEL 084-000-0000

発注者 福山市上下水道局 〇〇〇〇〇課 TEL 084-000-0000  
〇〇〇〇担当 〇〇 夜間・休日 TEL 084-928-1517

宅地内の掘削を承諾します。

\_\_\_\_\_年 月 日

住所：\_\_\_\_\_

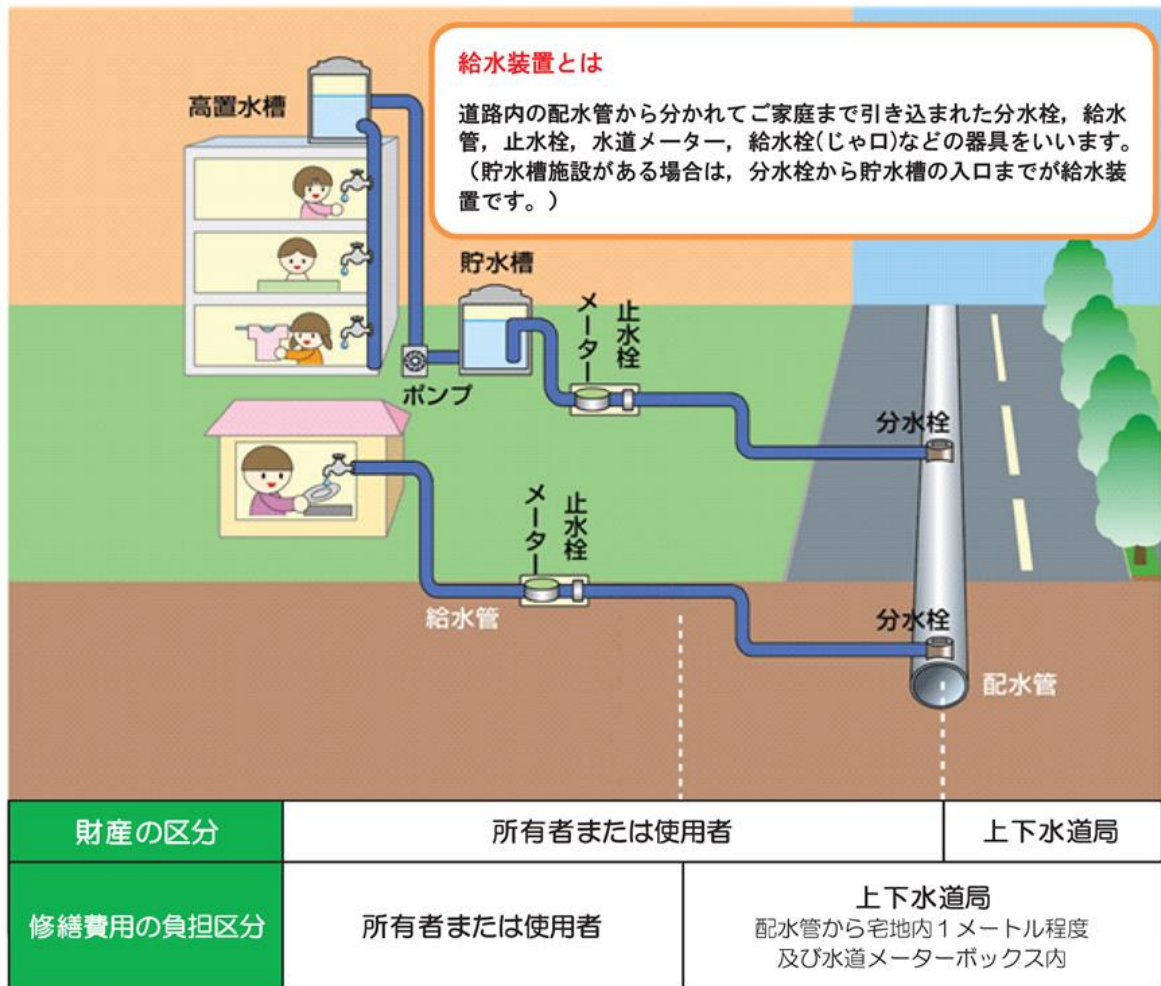
名前：\_\_\_\_\_

※宅内掘削後の復旧は、原形復旧(ただし、コンクリート・アスファルト・土のい  
ずれか)となります。なお、コンクリート・アスファルトで復旧する場合、色味が  
違うこと・継ぎ目ができることはご了承ください。

裏面 給水管についての説明

## 1. 給水管は個人の財産です。

局配水管からの分岐箇所（分水栓）から**個人の財産**となります。



## 2. 給水管の修繕や配水管布設工事の給水管切替について

給水管が漏水した場合、または配水管布設工事の給水管切替について公道部分は、局負担で行います。宅地内については、官民境界から1m程度までは、宅地内掘削の承諾を頂いた場合、局負担で給水管を布設替えします。

ただし、宅地内の復旧で樹木、タイル舗装等局で復旧できない場合もあります。詳しくは、工事担当課へ問い合わせください。

## 3. 鉛製給水管について

福山市では、1981年（昭和56年）以降に鉛製給水管を使用していません。しかし、それ以前に建築された建物及び水道工事をされた場合は、配水管からご家庭に引込まれている給水管として使用されている可能性があります。

鉛製給水管は通常の使用状態では全く問題はありますが、朝一番や長時間水道をお使いにならなかった場合、鉛の濃度が高くなる場合があります。念のためバケツ一杯程度をトイレ・散水など飲み水以外に使用されることをお勧めします。

また、鉛製給水管は布設後、経年劣化をしており漏水のリスクが高まっていますので、局が行う給水管の布設替えや家の増改築の際に、鉛製給水管の取替えをご検討ください。



# 断水のお知らせ

水道工事のため、次のとおり断水いたします。

大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

## 断水の予定時間（時間の表示は24時間表示です）

〇〇月 〇〇日（〇） 〇〇時〇〇分 から

〇〇月 〇〇日（〇） 〇〇時〇〇分 まで

※断水終了時間は工事の状況により多少前後する場合があります。

### 断水開始前、断水時間中にご注意いただくこと

○断水に備えて飲み水などを事前に“くみ置き”してください。

○断水時間中は必ず蛇口を閉めてください。

万が一ご使用されますと、“にごり水”により機器（トイレ・給湯器（エコキュート等）・浄水器等）が故障する場合があります。

### 断水終了後の水を使用される時にご注意いただくこと

○はじめに“にごり水”や“空気”が出ることがありますので、トイレ・給湯器・浄水器“以外”の蛇口で異常がないことを確認してから使用してください。

しばらく（2～3分程度）水を流していただくことで、きれいになります。

（水が“白くにごる”ことがありますが、空気と水が混じったものです。）

きれいにならない場合は、上下水道局へご連絡ください。確認に伺います。

#### 【受注者】

会社名 〇〇〇〇水道(有)

現場代理人 〇〇 〇〇

TEL 084-000-0000

TEL 084-000-0000（夜間・休日）

#### 【発注者】

福山市上下水道局 〇〇〇〇〇課

〇〇第〇担当

TEL 084-000-0000

TEL 084-928-1517（夜間・休日）

# 水道工事完成のお知らせ

〇〇〇〇建設株式会社

平素から水道事業の施工について、多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、福山市上下水道局発注の水道工事の 配水管布設工事（〇〇〇-〇） につきましては、みなさまのご理解とご協力により、〇〇年〇〇月〇〇日 をもちまして完成しましたので、お知らせいたします。

工事期間中は、大変ご迷惑やご不便をおかけしたことをお詫びいたします。

なお、このたびの工事に関する問い合わせなどの連絡先は、次のとおりとなりますので、よろしくお願いいたします。

(連絡先)

受注者.....

住 所.....

電 話.....

発注者 福山市 上下水道局 工務部 〇〇〇〇課

電話 084-〇〇〇-〇〇〇〇

# 埋戻し土貫入試験結果報告書(土研式)

番号

工事名

試験者

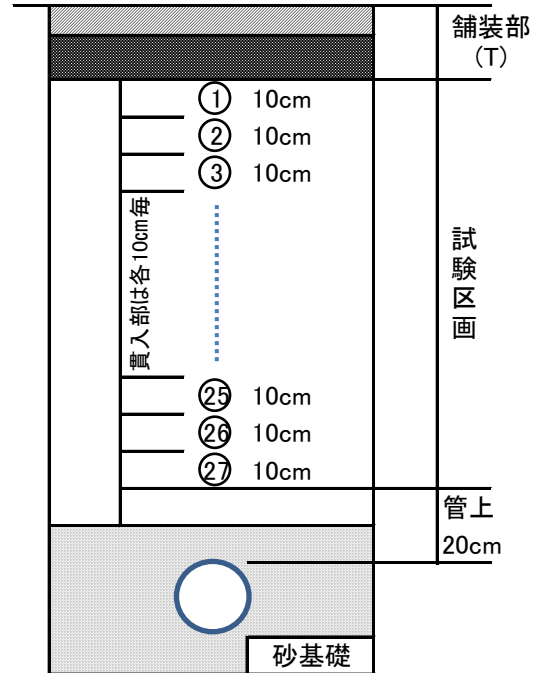
立会者

試験年月日  年  月  日

試験結果

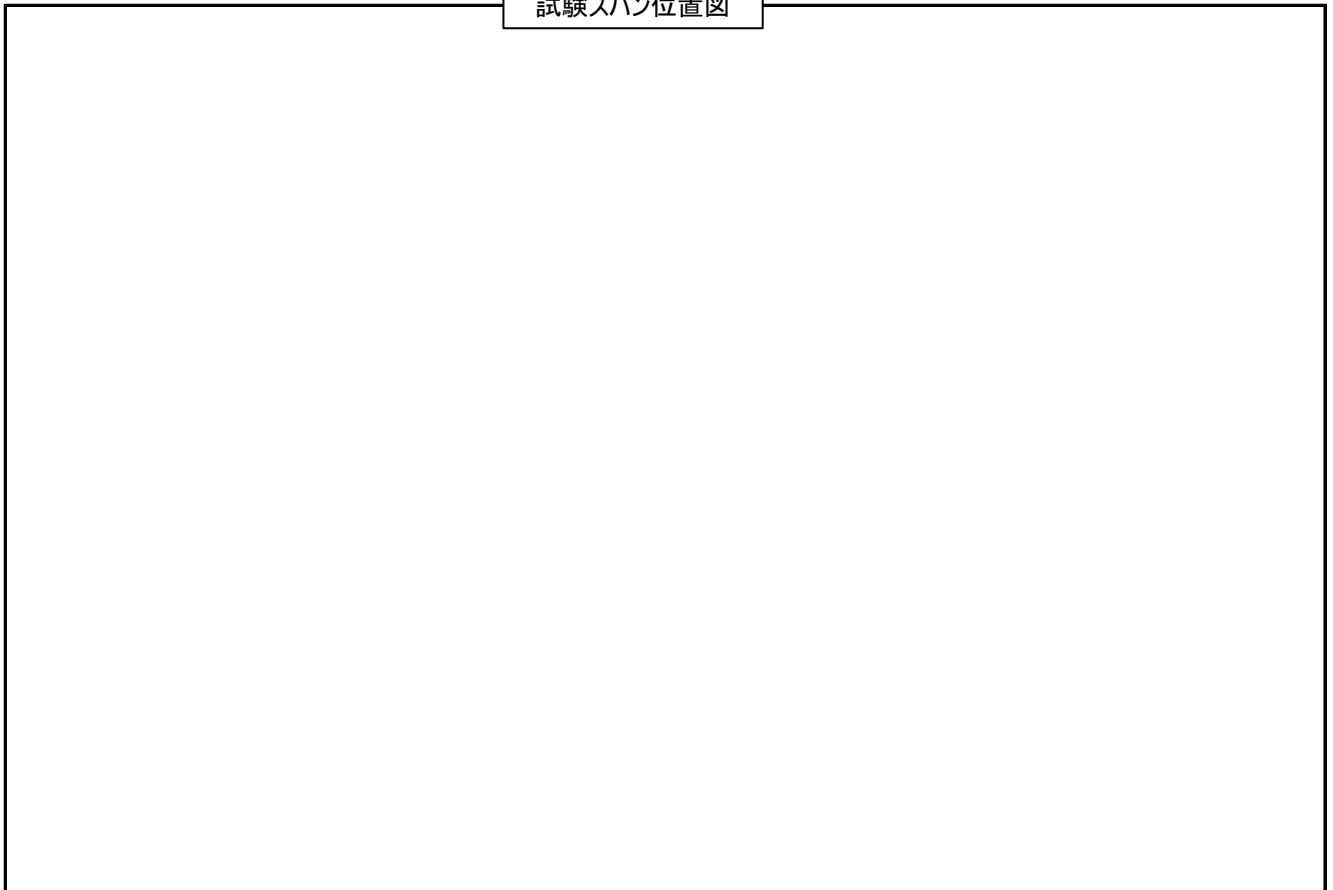
貫入部	打撃回数	貫入部	打撃回数	貫入部	打撃回数
①	回	⑩	回	⑱	回
②	回	⑪	回	⑲	回
③	回	⑫	回	⑳	回
④	回	⑬	回	㉑	回
⑤	回	⑭	回	㉒	回
⑥	回	⑮	回	㉓	回
⑦	回	⑯	回	㉔	回
⑧	回	⑰	回	㉕	回
⑨	回	⑱	回	㉖	回
				㉗	回

土被り	試験区間	試験回数
cm	cm	回
	値=(土被り)-T-20	値=(試験区間)/10



※ 試験対象深度については、埋戻し土天端より管上20cmの範囲で実施し、試験区間全体に必要な個所数を算出の上、全箇所での試験を行うこと。

試験スパン位置図



【試験状況が十分に確認できる写真を添付すること】

# 工 事 日 報

工 事 名		工 事 場 所	
受 注 者 名		施 工 年 月 日	天 候

施 工 内 容		勤 務 状 況		使 用 機 械	
工 種	細 別	名 称	数 量	名 称	数 量

使 用 材 料	名 称	規 格	単 位	数 量	名 称	規 格	単 位	数 量	

配管図

担 当 監 督 員	次 長 又 は 主 任 監 督 員

現 場 代 理 人	主 任 技 術 者